令和８年度　水道局イメージアップコンクール　受賞者の声

【工事件名】	境浄水場高度浄水施設築造工事（その１）	【施工部署】	西部建設事務所 工事第二課
【受注者】	大林・村本・トーヨー冨士工建設共同企業体	【受賞部門】	建設ＤＸ・担い手育成賞（施設・大口径管路・その他工事部門）

【工事内容】

○ 更新が予定されている東村山浄水場の代替施設として
境浄水場内に高度浄水施設を築造する工事である

【施工状況】

○土留め鋼矢板に囲われている

○風通しが悪く熱がこもりやすい

○日影がなく、
常に直射日光にさらされている

○WBGT値が40℃以上まで上昇

○作業員が100名程度



↑施工状況写真

【取組内容】

○暑熱対策AIカメラ「カオカラ」の導入による熱中症リスク低減の取り組み

カオカラ：作業員の顔色・表情・発汗と現場のWBGT値から
熱中症リスクを判定するAIカメラ

● 作業員詰所にカオカラ（タブレット）を設置

● 1日5回の測定（入場時・休憩時・退場時）をルール化

● 作業員の熱中症リスクを「緑・黄色・オレンジ・赤」の
4段階でアラート判定 → レベルごとの対応策をルール化

休憩、AVA冷却、水分補給後に再測定し、緑アラートで復帰



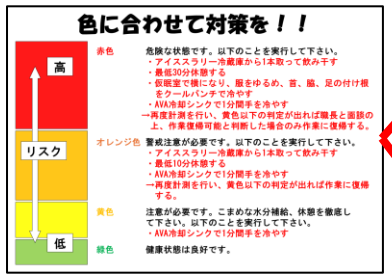
カオカラ実施状況

カオカラ製品詳細：https://kaokara.jp/kaokara

【受賞者の声】

良かった点

○ 4段階アラートによる危険度評価
● 明確な判断基準
→アラートのレベルごとの対応が可能



レベルごとの対応ルール



AVA冷却



水分補給

○ アラートのリアルタイム共有
● 見逃さない　● 早期対応
● 顔写真による個人特定



自動で管理者にメール通知

苦労した点 → 工夫・改善した点

○ どのようにして作業員に実施させるか

● 1日 5回の測定（入場時、休憩時、退場時）をルール化したが、忘れる人がいる

● アラートが出ても職員がすぐに対応できない

→ 昼礼時に実施回数を確認、翌朝礼時の周知や声掛けによる作業員の意識向上
対応要員（1名）を常時配置。対応漏れを防ぐとともに決められたルールを徹底

成果

○ 7月-9月の3ヶ月で、計**307回**のアラート（オレンジ・赤）を確認

○ 熱中症対策設備（AVA冷却装置※手のひら冷却、スラリー冷蔵庫）を有効活用

○今年も猛暑でしたが **熱中症発症者０名**で夏を乗り切ることができました。
厳しい環境の中、作業に従事していただいた方々に感謝申し上げます。